

平成30年度 救急の日シンポジウム

① 水害について

H30年9月12日

平成立石病院 大桃 丈知

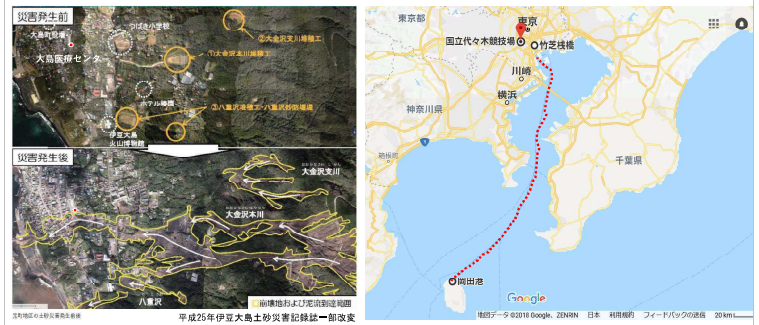
水害とは・・・

- **内閣府防災情報のHP**・・・台風や豪雨による風水害・土砂災害発生リスクが高まっています。
- **国土交通省気象庁のHP**
 - **浸水害**・・・排水が追いつかずあふれて氾濫したり、排水が阻まれたりして水につかる災害を内水氾濫と呼ぶこともあります。
 - **洪水害**・・・河川の流量が異常に増加することによって堤防の浸食や決壊、橋の流出等が起こる災害を洪水害といいます。
 - **土砂災害**・・・山腹や川底の石や土砂が集中豪雨などによって一気に下流へ押し流される現象を土石流といいます。
 - **高潮による災害**・・・台風などに伴い、海面が異常に上昇する現象です。

医療支援活動に関わった水害・・・

- **平成25年台風第26号土砂災害**
要配慮者の島外避難（東京都医療救護班）
- **平成27年常総市鬼怒川水害**
水没した病院避難（東京都医療救護班）
- **平成30年7月豪雨（西日本豪雨）災害**
医療搬送（全日病AMAT）
避難所巡回診療（東京JMAT）

平成25年台風第26号土砂災害 要配慮者の島外避難（東京都医療救護班）



大島町医療支援の総括

他組織が連携し、遅滞なく事故無く全員の避難を完了することが出来た

要配慮者の避難計画立案には、医療従事者の関与が重要

- ・要配慮者の医学的背景の事前把握
- ・船内収容場所の選定
- ・酸素ポンベの確保など

貨客船へのタラップ移動には車椅子が有用

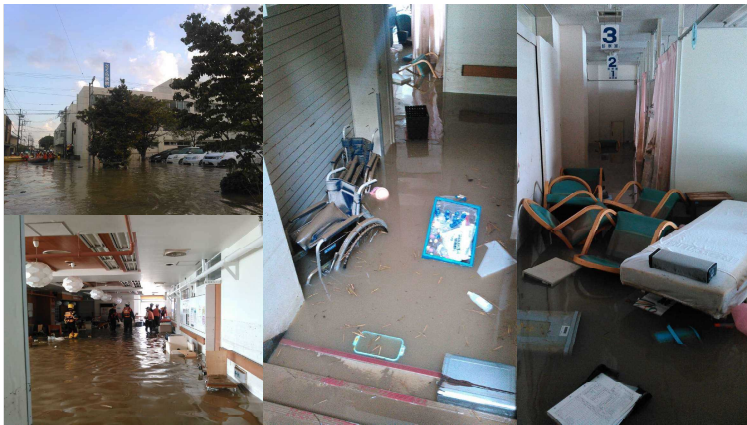
平成27年常総市鬼怒川水害 水没した病院避難（東京都医療救護班）

鬼怒川と病院の位置関係

【S病院の状況】



- ・入院患者73名+職員等49名
- ・維持透析が必要な患者33名
- ・1階透析室は水没し使用不可能
- ・ライフラインは寸断
- ・自家発電はごく一部に給電可能
- ・残存治療薬極僅か



常総市水害医療支援の総括

他組織が連携し、事故無く全員の避難を完了することが出来た

透析ネットワークと透析コーディネータが有効に機能した

狭い非常階段を利用した救出には、車椅子とシート担架が有用

病院救急車を保有して転送に従事することが可能な日本DMATを40隊以上確保できた

平成30年7月豪雨（西日本豪雨）災害 医療搬送（全日病AMAT） 避難所巡回診療（東京JMAT）





H30年7月豪雨医療支援の総括

急性期から亜急性期まで切れ目なく、DMAT-AMAT-JMATとバトンを引き継ぎながら医療支援活動を行えた

電気の復旧が早く、避難所となった体育館等にもエアコンが設置されるなど、環境整備が速やかだった

乾燥した汚泥による呼吸器症状・結膜炎・後片付け時の熱中症と外傷が主な対象だった

被災した地元消防力を補完する上で、AMATの病院救急車は有用

